

高校生は自分の将来をどう見通している？

前号に引き続き、「高校生価値意識調査2012」のトピックスをピックアップ。
現代高校生の価値意識が垣間見える、自分の将来イメージ、将来に対する考え方を紹介します。

「自分の将来は明るい」と感じる高校生が半数超

●「あなた自身の将来」は明るいと思うか

自分の将来が明ると思う高校生は55.4%。明るくないと思う44.6%を上回った。両者のコメントからは、将来の夢や目標の有無が、将来への印象を左右する一大要素であることがうかがえる。

明るくないと感じる理由

自分に自信がない

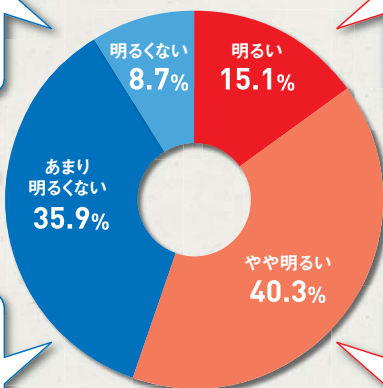
「今の成績では、自分の将来の夢はかないそうにない」(香川) / 「自分自身が未来を背負っているという自覚、それに伴う努力が足りない」(愛知)

将来の夢や目標がない

「どうい道に進むかまだ決めていないので明るい未来を想像できない」(北海道) / 「私にはまだ夢がないということ、いまは就職がとても困難なので職に就けるかどうかわからないから。就けたとしてもそれが本当にやりたいことかわからないから」(宮城)

社会への不信

「就職難の時代だし、大学を出たところで仕事に就けるかわからないから」(東京) / 「これからの日本は市場規模も縮小し、政府も何の対策もしない」(大阪)



明るいとを感じる理由

将来の夢や目標がある

「私は自分の将来の目標をかなえて楽しんでいると思うから」(大阪) / 「夢に向かって頑張っているから」(富山) / 「看護師になる勉強をしているから」(北海道)

自分たちで変えられる

「これからもっと明るくなっていかなきゃならんし、自分たちでそうした未来を作っていきたい」(岐阜) / 「震災を経験してこれ以上社会が後ろ向きになってはいけないと感じているし、そうさせないようにするのが私たちの責任だと思うから」(宮城)

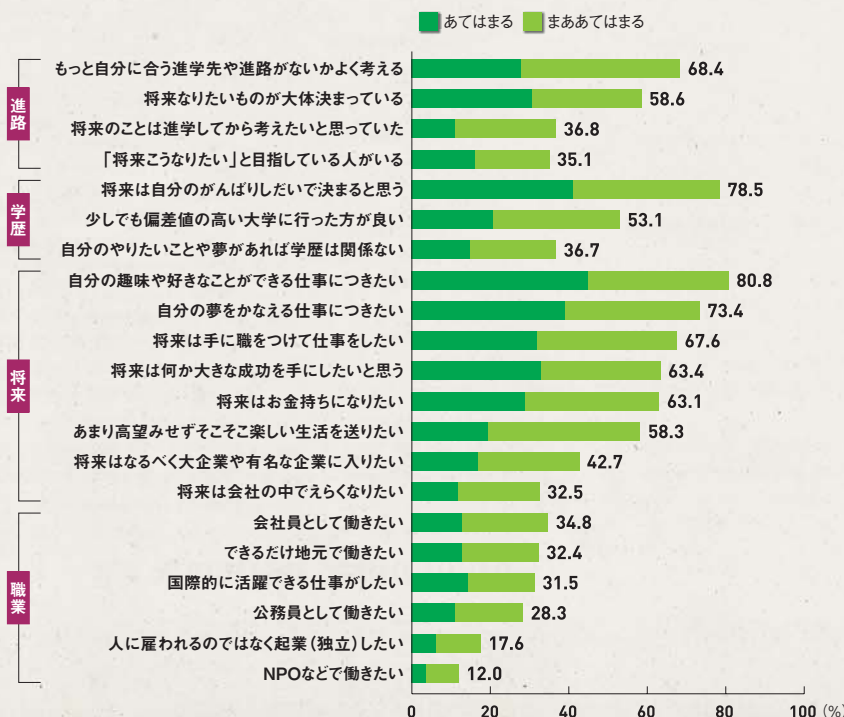
まずは気持ちから

「現状が暗い世相だからといって将来を悲観しても意味がない」(群馬) / 「明るくないと思いがら生きたくないから」(千葉) / 「ポジティブにいかなくや未来はつくれる」(栃木)

好きなことを探して、自分なりにがんばる？

● 将来に対する考え方

※グラフ内の数値は「あてはまる」「まああてはまる」の合計



「将来に対する考え方」についての回答結果(右図)からは、好きなことを探し、努力しようとする高校生の姿勢がうかがえる。【進路】については「もっと自分に合う進学先や進路がないかよく考える」が多く、【学歴】では「自分のがんばりだけで決まる」という意識の高さが目立つ。【将来】に関しては、「趣味や好きなことができる仕事につきたい」がトップで、客観的評価である「大企業や有名な企業に入りたい」「会社の中でえらくなりたい」は多くない。【職業】では、割合は大きくはないものの、非営利で社会貢献の役割が強い「NPO」に10人に1人が興味をもっている点にも注目したい。このほかの「高校生価値意識調査」の結果(★)はwebにアクセスを。

出典：リクルート「高校生価値意識調査2012」
調査方法：インターネット調査 調査対象：株式会社マクロミルのモニター会員のうち、2012年3月時点の高校生を対象にスクリーニング調査を実施し、下記の①もしくは②に該当した者を調査対象とした。①2012年4月現在、高校2年生、3年生で大学・短期大学・専門学校いずれかへの進学を検討している男女。②2012年4月現在、高校既卒者で、高校時代に大学・短期大学・専門学校いずれかへの進学を検討したことがある男女。 調査回収数：1239名 調査実施期間：2012年4月13日(金)～4月20日(金)

